

決 算 の 概 要

1 簡易水道事業

- (1) 計画給水人口 15 万人に対する普及率は、59.8%で、前年度とほぼ同数である。給水量 1m³ 当たりの給水原価は、県平均で 557 円 20 銭（前年度比 9.3%減）、供給単価は、215 円 20 銭（前年度比 0.1%増）であり、給水原価が供給単価を下回っているのは前年度より 2 事業減少して 4 事業である。
- (2) 収入総額は 76 億 88 百万円（前年度比 8.8%減）、支出総額は 76 億 6 百万円（前年度比 10.4%減）であり、形式的収入は、2 億 86 百万円の黒字（前年度比 7.9%増）、実質収支は 1 億 64 百万円の黒字（前年度比 21.2%減）である。
なお、収益収入の他会計繰入金は 8 億 85 百万円（前年度比 6.1%増）、資本的収入中の他会計補助金等は 10 億 67 百万円（前年度比 25.8%増）であり、総収入に対する他会計補助金等の割合は、25.4%である。

2 交通事業（船舶運航）

- (1) 事業数は、前年度と同様 2 事業で、運行路線数 2 路線、営業航路 10.9km、年間輸送人員は 42 千人（前年度比 2.4%増）である。
- (2) 収入総額は、92 百万円（前年度比 5.7%増）、支出総額は、90 百万円（前年度比 5.3%減）で、形式収支及び実質収支ともに、3.8 百万円（前年度比 8.0%減）の黒字である。

3 電気事業

- (1) 事業数は 2 事業で、前年度と同様である。発電開始も前年度同様 1 事業である。発電形式はゴミ発電で、年間発電電力量は、11,598Mwh である。
- (2) 収入総額は、12 百万円（前年度同額）、支出総額は、4 百万円（前年度比 456.9%増）で、形式収支は 10 百万円（前年度比 23.3%減）の黒字、実質収支は均衡している。

4 下水道事業

(1) 公共下水道事業

ア 事業実施団体は、前年度と同様に 31 団体で、供用開始団体は、26 団体である。

供用開始団体における現在処理区域内人口は 49.1 万人、現在処理区域面積は、10,573ha となっている。

また、行政区域内人口に対する普及率は、40.6%で、前年度に比べ 1.5 ポイント上昇し、市街地面積に対する普及率は、66.4%で、前年度に比べ 4.1 ポイント上昇した。

イ 収益的収支の状況は、総収益が 154 億 33 百万円（前年度比 6.4%増）、総費用が 156 億 17 百万円（前年度比 1.5%増）で、1 億 84 百万円（前年度比 79.3%減）の赤字となっている。これは、資本費平準化債のうち収益的支出に充てた 23 億 65 百万円が収益的収支に含まれないことによるもので、再差引収支は、21 億 81 百万円の黒字となっている。

ウ 資本的収支の状況は、収入が 399 億 37 百万円（前年度比 0.8%増）、支出が 421 億 27 百万円（前年度比 2.6%増）で、21 億 90 百万円（前年度比 55.0%増）の赤字となっている。

エ 経費回収率（料金収入／汚水処理費）は、41.6%（前年度比 0.1%増）と若干改善しているものの、依然として低く、使用料で回収されるべき処理費用の 60%弱が、一般会計からの繰入金等により補てんされる状況となっている。経営状況の的確な把握を行い、料金水準の適正化を図るためにも早急な地方公営企業法の適用が要請される。

(2) 特定環境保全公共下水道事業

ア 事業実施団体は、前年度と同様に 30 団体で、うち供用開始団体は、18 団体である。

イ 収入総額は、94 億 51 百万円（前年度比 14.9%増）、支出総額は 94 億 80 百万円（前年度比 15.7%増）で、29 百万円（前年度比 187.9%減）の赤字である。

(3) 農業集落排水事業

ア 事業実施団体は、前年度より 2 団体増加し 41 団体で、うち供用開始団体は 32 団体である。

イ 収入総額は、106 億 22 百万円（前年度比 2.8%減）、支出総額は、106 億 84 百万円（前年度比微減で、62 百万円（前年度比 125.2%減）の赤字である。

(4) 漁業集落排水事業

ア 事業実施団体は、前年度と同様に 7 団体で、うち供用開始団体は 4 団体である。

イ 収入総額は、9 億 38 百万円（前年度比 44.9%減）、支出総額は、9 億 47 百万円（前年度比 44.7%減）で、9 百万円（前年度比 10.0%減）の赤字である。

(5) 特定地域生活排水処理事業

ア 事業実施団体は、前年度より 3 団体増加し 5 団体で、すでに供用開始している。

イ 収入総額は、3 億 05 百万円（前年度比 281.3%増）、支出総額は 3 億 04 百万円（前年度比 289.7%増）で、1 百万円（前年度比 50.0%減）の黒字である。

(6) 個別排水処理事業

ア 事業実施団体は、前年度と同様に 1 団体で、すでに供用開始している。

イ 収入総額は、21 百万円（前年度比 69.6%減）、支出総額は 23 百万円（前年度比 68.1%減）で、2 百万円（前年度比 33.3%減）の赤字である。

5 港湾整備事業（施設利用）

(1) 荷役機械の年間取扱荷物量は、63 万 t（前年度比 2.1%増）で、旅客上屋の年間利用者数は、104 万人、その他上屋の年間取り扱い荷物量は 20 万 t である。

(2) 収入総額は、13 億 11 百万円（前年度比 36.3%減）、支出総額は、12 億 89 百万円（前年度比 36.2%減）で、形式収支は、89 百万円（前年度比 34.2%増）の黒字、実質収支は、2 百万円（前年度 54.4%減）の黒字である。

なお、他会計への繰入はない。

6 市場事業

- (1) そ菜等の年間取扱高は、32万91百t（前年度比0.6%減）で、売上高は、1,225億円（前年度比2.4%減）である。
- (2) 収入総額は、34億91百万円（前年度比5.2%減）、支出総額は、34億90百万円（前年度比5.2%減）で、形式収支は0で、実質収支も0である。

7 と畜場事業

- (1) 年間処理実績は、5万4千頭（前年度6万5千頭）で、1日平均処理数は、218頭（前年度比16.8%減）である。
- (2) 収入総額は、15億50百万円（前年度比10.8%減）、支出総額は、15億47百万円（前年度比10.9%減）で、形式収支は、2,899千円で、前年度（1,480千円）に比べ1,419千円増加し、実質収支は1,501千円の黒字で、前年度（1,480千円）に比べ21千円増加した。
 - ・ なお、料金収入の収益的収入に対する割合は、7.4%（前年度8.2%）で、他会計補助金等の総収入に対する割合は、77.5%（前年度75.3%）である。

8 観光事業

(1) 休養宿泊施設

ア 施設能力は、3施設、定員は329人である。

年間延宿泊者数は、2万6千人と、前年度に比べ2千人（前年度比6.3%増）の増である。

イ 収入総額は、3億6百万円（前年度比9.7%減）、支出総額は、3億円（前年度比10.4%減）で、形式収支、実質収支ともに13百万円（前年度比0.2%減）の黒字である。

(2) 索道

ア 施設数は、前年度と同様1施設で、年間輸送人員は25万人（前年度比3.2%減）である。

イ 収入総額は、60百万円（前年度比2.5%減）、支出総額は、51百万円（前年度比2.9%減）で、形式収支、実質収支ともに0となっている。

(3) その他観光施設

ア 施設数は、5施設（前年度4施設）で、年間利用人員は、67万人（前年度比8.1%減）である。

イ 収入総額は、40億19百万円（前年度比100.5%増）、支出総額は40億16百万円（前年度比100.4%増）で、形式収支は8百万円（前年度比皆増）、実質収支は2百万円（前年度比54.1%減）の黒字である。

9 宅地造成

(1) 臨海土地造成

ア 事業数は、3事業で計画総事業費1,729億53百万円、計画総面積3,920千m²、うち13年度完成分（売却可能となった部分）事業費は、0円である。

イ 収入総額は、45 億 4 百万円（前年度比 11.7%増）、支出総額は、34 億 46 百万円（前年度比 10.3%減）で、形式収支は、2 億 68 百万円（前年比 134.5%減）の黒字で、実質収支は、5 億 74 百万円の黒字である。

(2) その他

ア 土地区画整理法に基づく造成は、造成計画面積 649 万 m^2 に対し、13 年度は、9 千 m^2 を造成し、完成面積は、556 万 m^2 （完成率 85.6%）となった。

内陸工業用地等・流通業務団地・住宅用地造成は、計画面積 224 万 8 千 m^2 に対し、13 年度は 3 千 m^2 を造成し、完成面積は、127 万 5 千 m^2 （完成率 56.7%）となった。

イ 収入総額は、82 億 60 百万円（前年度比 14.9%増）、支出総額は、79 億 72 百万円（前年度比 13.3%増）で、形式収支は、4 億 78 百万円（前年度比 32.3%減）の赤字で、実質収支は、5 億 88 百万円（前年度比 26.0%減）の赤字である。

1 0 有料道路事業

(1) 事業数は、1 事業で、道路の総延長は、1,700mである。

(2) 収入総額、支出総額ともに 4 億 12 百万円（前年度比 7.0%減）である。

1 1 駐車場整備事業

(1) 駐車場数は、49 箇所、収容能力は、6,506 台（前年度比 0.1%減）、1 日平均利用台数は 14,612 台（前年度比 0.4%増）である。

(2) 収入総額は、30 億 67 百万円（前年度比 0.2%減）、支出総額は、24 億 73 百万円（前年度比 2.7%減）で、形式収支が 2 億 23 百万円（前年度比 72.2%増）、実質収支が 1 億 85 百万円（前年度比 43.3%増）の黒字である。

1 2 介護サービス事業

(1) 事業数は、3 事業で、施設定員は、介護老人保健施設が 70 人、通所介護 55 人、通所リハビリステーションが 30 人である。

(2) 収入総額は、4 億 60 百万円、支出総額は、4 億 49 百万円で、形式収支が 48 百万円、実質収支が 38 百万円の黒字である。